

令和7年度住之江区運営方針
振返り(案)について

令和8年度住之江区区政会議
第1回 すこやか・まちづくり部会

目次

・令和7年度 住之江区運営方針

└ 区の目標、区の使命、区運営の基本的な考え方	P1
└ 【経営課題2】 <u>令和7年度運営方針</u> 課題設定の根拠	P2～3
└ 【めざす成果及び戦略2-1】課題認識、主な戦略、評価指標	P4
└ └ 【具体的取組2-1-1・2-1-2】令和7年度の実績、令和8年度の方向性	P5～6
└ 【めざす成果及び戦略2-2】課題認識、主な戦略、評価指標	P7
└ └ 【具体的取組2-2-1・2-2-2】令和7年度の実績、令和8年度の方向性	P8～9
・ <u>付属資料</u>	P10～11

令和7年度住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- 区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～
区民の視点に立った区役所サービスの提供
まちづくりの支援拠点としての機能の強化
- 官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～
官民連携の強化による地域課題の解決
区政情報・区の魅力の効果的な発信

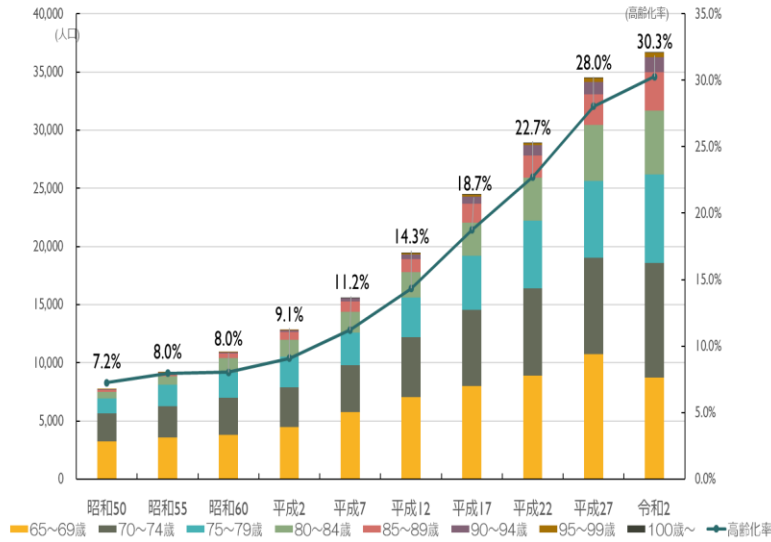
令和7年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- 子どもたちの未来のために、「安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち」「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- 安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

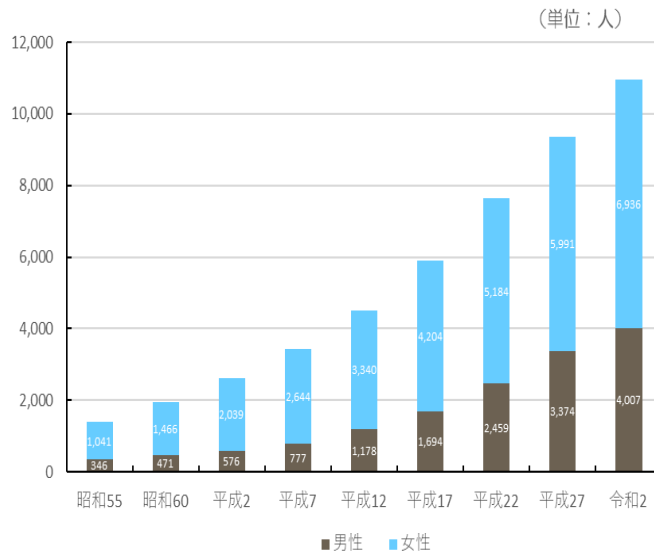
【2-1 支え合い安心して暮らせるまち】

・高齢者が年々増加し、高齢者の半数以上が後期高齢者となっており、一人暮らし高齢者、認知症高齢者も増加している。

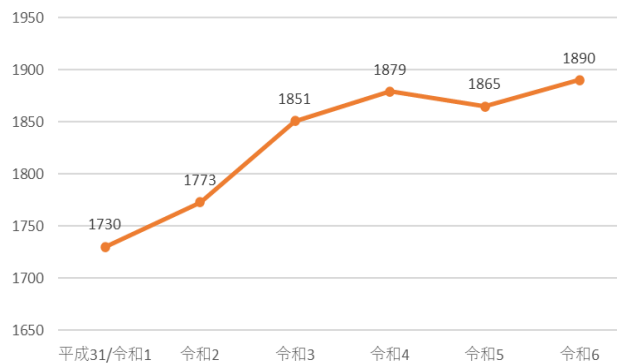
高齢者人口と高齢化率の推移



住之江区の高齢単身者数



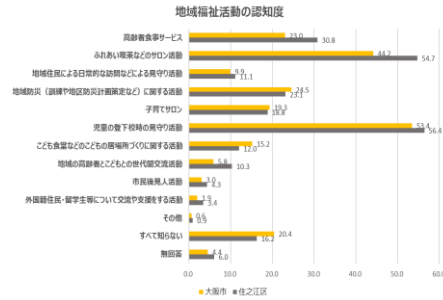
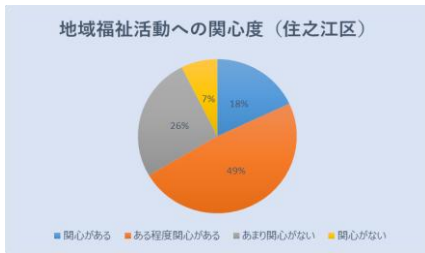
住之江区の認知症高齢者数 (日常生活自覚度Ⅱ以上) (単位: 人)



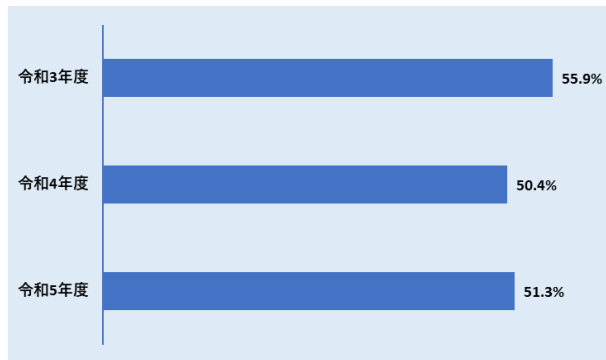
大阪市ホームページ (福祉事業統計) より

【2-2 活力と魅力のあふれるまち】

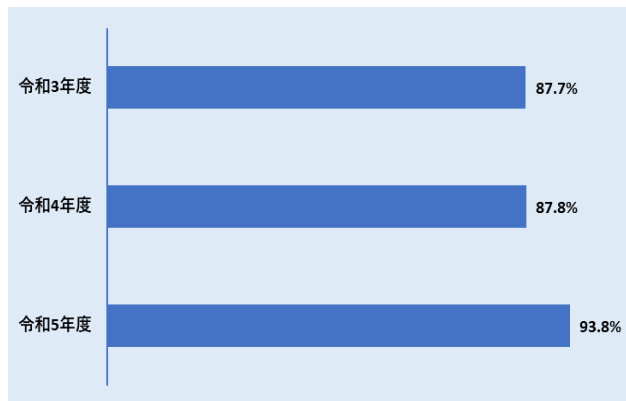
・地域福祉活動に関心があっても、参加したことがある人は少ない。



・区政に関する区民アンケートで「地域活動協議会を知っている」と回答した割合



・地域活動協議会の構成団体アンケートで（「地域活動協議会に対して、まちづくりセンター等は、地域の実情やニーズに即した支援を実施している」と回答した割合



経営課題2 すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために



●めざす成果及び戦略

5決算額	12,490 千円	6決算額	12,550 千円	7予算額	12,619 千円
------	-----------	------	-----------	------	-----------

2-1 支え合い安心して暮らせるまち

【めざす状態】

地域の人々や様々な機関が、それぞれの立場でできることを行い、できないところはお互いに連携し取り組んでいくことで、すべての人々が温かく見守られたり、必要な支援を受けながら、住み慣れた地域に愛着を持ち、自分らしい暮らしを安心して送ることができるまちをめざす。

課題認識

- ✓福祉関連施策をより着実に推進するとともに、多様化・高度化する社会環境に柔軟に対応できるよう、関係機関との相互連携を一層強化するなど、支援を必要とする人に寄り添い支える地域づくりを一層進める必要がある。
- ✓地域福祉ビジョンや広報紙などによる啓発や、地域での見守りの担い手である「見守りあったかネットサポーター」の養成、区社会福祉協議会との連携などによる地域福祉の一層の充実を図る必要がある。

主な戦略

- ✓地域ですこやかな生活が送れるよう、福祉・健康・医療・介護・暮らしの支援などの制度のもと、福祉サービスを総合的に提供するとともに、包括的な支援の仕組みを構築し、地域において誰もが支え合い、いきいきと豊かに尊厳をもって暮らすことができるよう取り組む。
- ✓誰もが自分らしく安心して生活できる環境を実現するためには、地域内で住民同士が互いに支え合い、それぞれが自分らしく活動できるコミュニティづくりが重要である。身近に住む住民の皆さんが、お互いを気にかけて、見守ることで相手の変化に気づくことができる。住之江区では、各地域が高齢者、障がい者、子どもなどを見守る活動を行っており、変化に気づいた人が自ら助けることができない場合や解決が難しい場合であっても、地域で見守り、適切な支援につなぐことで支え合うことができる。地域で孤立せず、自分らしい生活を送ることができるような、気かけ、つながり、支え合う地域づくりを推進していく。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、地域活動協議会アンケートで、地域の中で見守りやつながりづくりに資する活動ができていると回答する割合

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
		92.3%	60%以上

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓職員の意識向上のための研修の実施や、地域福祉の充実にむけて各地域での活動状況を共有する場を設けるなど順調に取り組んでおり、引き続き、新たな見守りの担い手が地域福祉活動に参加しやすく続けやすいような環境づくりを進めていく。

● 具体的取組

2-1-1 安心を提供する福祉施策の推進

取組実績

- ✓区役所で相談業務を実施している部署を対象とした職員会議の中で、「気づき」「感度の向上」を目的に、学識経験者を講師とした研修会を実施 12月10日
- ✓区役所の全ての職員が区民の困りごとに対してよりの確な支援につなげられるよう、全職員に研修会の動画視聴による「気づき」「感度の向上」の研修を実施 2月24日～3月11日

成果指標	目標	中間実績	最終実績
区役所の全職員に対して実施するアンケートで「区民の相談に対して、適切な支援につなげられるように、課題に「気づく」ことを意識して行動できる。」との質問に対する肯定的な回答の割合	80%		93.2%

令和7年度の課題

- ✓区民が安心して相談できる相談支援体制の充実を図る必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓安定的に継続した研修等を実施し、区民の困りごとに対して職員の「気づき」や「感度の向上」を図る。

● 具体的取組

2-1-2 地域福祉の充実

取組実績

- ✓ コーディネーター相談件数 1,653件(延べ)
- ✓ 見守りあったかネットサポーター養成講座の開催
(地域向け) 15回 308名参加
(学校向け) 7回 550名参加
(企業向け) 3回 50名参加
- ✓ 見守りあったかネットコーディネーター・リーダー研修の開催 2回 69名参加

成果指標	目標	中間実績	最終実績
地域向け『見守りあったかネットサポーター養成講座』への年間参加者数	300人以上		308人

令和7年度の課題

- ✓ 担い手が高齢化・固定化しているため、見守りあったかネットサポーター養成講座に新規の参加者を増やし、新たな担い手を養成する必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓ 地域のつながりを活用するなどして、どのようなサポートを必要としているかなどのニーズを明確化し、間口を広げることで、区民の参加促進へと繋げる。

経営課題2 すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために



●めざす成果及び戦略

5決算額	63,570 千円	6決算額	62,645 千円	7予算額	62,563 千円
------	-----------	------	-----------	------	-----------

2-2 活力と魅力のあふれるまち

【めざす状態】

地域の人々や様々な機関が、それぞれの立場でできることを行い、できないところはお互いに連携し取り組んでいくことで、すべての人々が温かく見守られたり、必要な支援を受けながら、住み慣れた地域に愛着を持ち、自分らしい暮らしを安心して送ることができるまちをめざす。

課題認識

✓企業・NPO・学校・地域交流会を開催するなどの支援により地域活動協議会の自律度は着実に改善しているものの、引き続き、より幅広い人材、団体など、多様な主体による地域活動及び主体間の相互連携の一層の活性化を図るとともに、地域の自主財源の強化のためのサポートや、新たな地域活力を創出するためのICT活用など、地域活動協議会の自律的な運営をより一層促進する必要がある。

✓既存の地域イベントだけでなく、更なる地域の魅力の再発見や新たな魅力の創出につながるよう、これまでの紙媒体での広報に加え、SNSなど多様な広報媒体を活用し、地域の魅力の共有と発信が一層進むよう取り組む必要がある。

主な戦略

✓住之江区の各地域では、日ごろから、夏祭りや子育てサロン、ふれあい喫茶、子どもの見守り、近所の清掃など様々な活動が行われている。これらの活動は、日々の暮らしに、にぎわいと安心をもたらすだけでなく、住之江区全体の活力の源ともなっている。こうした地域活動が将来にわたって自律的に行えるよう、地域の特性などそれぞれの地域の実情にあった必要な支援を行うとともに、多様な主体による連携を促し、より発展する環境づくりを進める。

✓地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができるまちづくりをめざす。身近な地域にある歴史や文化の魅力を発信し、地域の皆さんが共有することで、地域への愛着はさらに深まり、次の世代へと引き継がれていく。ICTの活用を図りながら、このような機運を高めるための環境や仕組みづくりを進めていく。

評価指標と達成状況

✓令和11年度末までに、地域活動協議会アンケートで、地域活動協議会が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
94.60%	91.20%	85.7%	90%以上

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

✓まちづくりセンターと連携し、「企業・NPO・学校・地域交流会」等を開催し、地域課題の解決に向けた支援を行った。一部地域で地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等を活用した地域活動が活発となったが、さらに活発に連携した活動が行われるよう、各地域活動協議会の自律的な運営に向け支援していく必要がある。

✓まちづくりセンターと連携して、広報実務者担当交流会を開催し、地域活動の魅力を発信するため、「まちセンNEWS」を発行した。引き続き区政会議と地域活動協議会において情報共有を行い、地域課題の解決に向けた支援を行っていく。

● 具体的取組

2-2-1 多様な主体と連携した地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

取組実績

- ✓ 地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動の実施 38件
(登下校時の見守り活動、地域運動会、もちつき大会等のイベントでのボランティア活動)
- ✓ 企業・NPO・学校・地域交流会の開催 2回
(第1回:9月19日 第2回:2月13日)
- ✓ まちセンカフェの開催 3回
(第1回:5月28日 第2回:8月27日 第3回:12月10日)
- ✓ 地域の自律的な運営ができるよう2地域で「会計交流会」を開催
(加賀屋東地域:10月8日 住吉川地域:11月28日)
- ✓ LINE公式アカウントを活用した情報発信や電子回覧板、開設資金の確保等についての先進事例を共有及び普及していくため、広報実務者担当者講習&交流会を開催 8月8日
- ✓ まちづくりセンターにより、地域の活動紹介を行う「すみまちNEWS」の発刊 4回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動の実施	12件以上		38件
地域活動協議会アンケートで、まちづくりセンター等は、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると回答した割合	90%		85.7%

令和7年度の課題

- ✓ 「企業・NPO・学校・地域交流会」等の開催により、一部地域では地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等を活用した地域活動が活発となったが、さらに活発に連携した活動が行われるよう支援が必要である。
- ✓ まちづくりセンターと連携し、地域の実情やニーズに即した支援を実施してきたが、今後さらにきめ細かな支援が必要である。

令和8年度の方向性

- ✓ まちづくりセンターと連携しながら、地域活動協議会の情報発信等に係るスキル向上及び企業・NPO・学校・地域交流会等を継続的に実施し、地域課題の解決に向けた協働取組が更に活発になるように支援していく。
- ✓ まちづくりセンターと連携し、地域の実情やニーズに即した、きめ細かな支援を行い、自律的な運営ができるよう、さらなる支援を行っていく。

● 具体的取組

2-2-2 地域の魅力の共有と発信

取組実績

- ✓ポータルサイト登録団体数 59団体
- ✓ポータルサイトを活用して情報発信を行った件数 216件
- ✓スマホちょこっと相談会 14地域

成果指標	目標	中間実績	最終実績
ポータルサイトを活用して情報発信を行った件数	150件以上		216件

令和7年度の課題

- ✓ポータルサイト(すみのえ情報局)の利用状況の検証・今後の検討を行った結果、令和8年3月末で運用を終了することとしたが、引き続き地域の情報発信の支援を行う必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓地域の情報を共有・発信することで、更なる地域の魅力の再発見や新たな魅力の創出につながるよう、これまでの紙媒体での広報に加え、SNSや情報サイトなど多様な広報媒体を活用し、引き続き地域の情報発信の支援を行う。

【2-1 支え合い安心して暮らせるまち】

■職員の「気づき」「感度の向上」に向けた取組

区民の相談に対する確かな支援につなげるよう、区職員に対し区民の相談に対する「気づき」「感度の向上」を図り、区役所内や関係機関との連携を含めて、必要な支援につなげられるよう研修等を実施します。



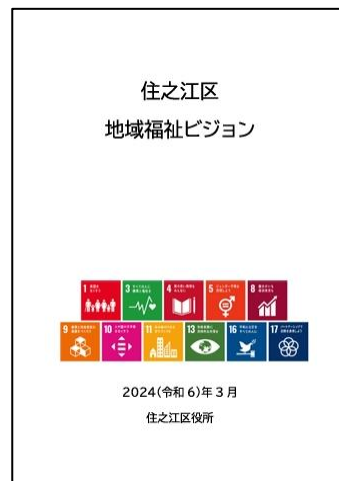
■見守りあったかネットサポーター養成講座

気になる地域住民の生活に異変を感じたら、関係機関に連絡する「ゆるやかな見守り活動」から、定期的な安否確認が行えるよう各地域において、普段からの見守り活動の担い手となる「見守りあったかネットサポーター」を養成する講座を開催しています。「組織的な見守り活動」が行える地域の体制を構築することを目標とし、取り組んでいます。



■地域福祉ビジョン

だれもが自分らしく安心して生活していくためには、地域福祉の推進が必要不可欠です。区内の状況や特性に応じた取組を進めるため、「住之江区地域福祉ビジョン」を策定しており、区全体及び区内14地域の地域福祉に関する課題や取組等について記載し、区内における地域福祉の推進を図っています。現行の計画期間は令和6年度～令和8年度の3か年であり、今年度が最終年度にあたるため、次期「住之江区地域福祉ビジョン」の策定に向け、作業を進めていきます。



住之江区地域福祉ビジョン



【2-2 活力と魅力のあふれるまち】

■企業・NPO・学校・地域交流会

次世代の担い手確保等の地域の課題解決に向け、まちづくりセンターと連携しながら、地域と企業・NPO・学校等の異なる活動者のつながりづくりとして、企業・NPO・学校・地域交流会を開催。令和7年度は2回開催(第1回:9月19日 第2回:2月13日)し、地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動が活発となりました。



第2回企業・NPO・学校・地域交流会では、これまでに企業等と地域が連携・協働した事例を発表していただき、貴重な情報の共有の場となりました。
 今後はさらに多くの地域で連携・協働ができるよう、充実した交流会にしていきたいと思います。

■企業からの地域活動に対する食品等の提供

マルイ食品株式会社及びアイン食品株式会社とパートナーシップ協定を結び、フードロス対策として廃棄が予定されている食品を地域活動協議会が行う地域活動に対して提供いただく取組を開始。地域と企業がWINWINの関係構築けるとともに、地域の自律的運営にも役立っています。



ふれあい喫茶にて提供



地域防災訓練の炊出しにて提供